

## 平成30年度を迎えて

今年度は診療報酬と介護報酬の同時改訂の年に当たり、重症心身障害児（者）施設にも大きな影響が出るのではないかと心配していましたが、島田療育センターにとって診療報酬の根幹である障害児入院基本料は堅持され安堵しているところです。島田療育センターはこれから、新センターの建設に向け進んでいきます。

設立時は入所施設として発足しましたが、その後はリハビリテーションの開始、外来、デイケアの設置と

時代に合わせて発展してきました。新センター建設に向けては将来を見据えた方針が必要です。入所機能は重症心身障害児（者）の「最後の砦」であり当センターの根幹をなすものですが、在宅や地域支援を含めて将来も見通した新センターを目指していきたいと思えます。



院長 木実谷 哲史

### 平成30年度の方針

- 1 健全な財務体制の構築
- 2 職場環境の見直し
- 3 業務効率の向上
- 4 総合的な人材育成の構築を図る
- 5 新センター建築計画の構築

### 平成30年度

### 主な行事予定・就学状況

4月 新職員オリエンテーション  
デイケアセンター入所式

5月 第57回創立記念式  
1病棟運動会  
3病棟大遠足（西棟）  
6病棟大遠足（1班）

6月 2病棟大遠足（1班）  
5病棟全体活動  
7病棟大遠足（西棟）  
デイケアセンター親睦会  
島田療育センター集談会

9月 わいわい祭り

10月 2病棟大遠足（2班）  
3病棟大遠足（東棟）  
5病棟大遠足  
6病棟大遠足（2班）  
7病棟大遠足（東棟）

11月 1病棟秋のお楽しみ会  
3病棟運動会  
島田療育センター集談会

12月 クリスマス会

1月 （入所）成人・還暦を祝う会  
（通所）新年を祝う会

2月 公開シンポジウム

3月 デイケアセンター卒園式

### その他イベント予定

CAPP（4回実施）、各種音楽コンサート、多摩市障がい者美術作品展、各種講演会（セブクロバー）…など

### 東京都立多摩桜の丘学園在籍数（4月1日現在）

	本校	分教室	総数
小学部	0名	2名	14名
中学部	1名	4名	
高等部	2名	5名	

## 第17回 島田療育センター 公開シンポジウム

2月18日(日)

来年度に診療報酬と介護報酬のダブル改定という転換期を迎え、施設から在宅・地域へという流れが推し進められる中、今後、重症児施設は地域に対しどのような役割を果たしていけばよいのか考えるという趣旨で本シンポジウムは企画されました。

基調講演の児玉先生は、施設入所と在宅ケアは対立関係ではなく、地域と施設が補完し合い入所と在宅・地域生活が共存し合える施設が理想であるとお話しくださいました。一方、東京都の施設のように広範な地域をカバーしている場合では、家族や地域との関係が希薄化し、施設生活以外の生活の保障が難しくなることが課題であるとお話しされました。

次に話題提供の椎木先生は、施設が地域に一定の責任を果たすためには在宅支援の強化が肝要であると強調されました。実践なくして課題はみえてこないし、地域連携の強化もできない、と述べられました。お二人の先生はいずれも実践から得られた知見をお話しくださいましたが、今まで制度作りに携わってきた河理事長は、「制



児玉 和夫 先生

大阪府・堺市立重症心身障害者(児)支援センター「ベルデさかい」センター長

度のための制度というのは全く無意味であり、制度は実践のためのものである」と述べられました。その上で、施設の日中の時間の中に色々なサービスのメニューを用意する時代が来ているが、施設の中だけでメニューを作るのではなく、外の事業にも求めていくことを考えていくべきでは、と地域との協働の重要性についても提言されました。

地域や施設の形態などに違いこそあれ、障害のある方々の個人の尊厳と多様性を尊重した社会の実現に向けて実践されている演者の先生方の熱い想いに大いに元気づけられた会となり、3時間半がとても短く感じられました。当センターの理念には「地域に開かれたセンターを目指します」とあります。この理念を常に心に留め、より良いサービスの提供に向けてこれからも尽力していきたいと強く思いました。演者の先生方、ご聴講くださった皆様、ありがとうございました。

(支援部次長 山本 秀二)



椎木 俊秀 先生

社会福祉法人鶴風会  
東京小児療育病院 院長



河 幹夫

社会福祉法人日本心身障害児協会  
理事長

## 平成30年度 新職員オリエンテーション

4月2日(月)~

平成30年4月2日(月)~4月10日(火)まで、全職種を対象とした新人職員向けのオリエンテーションを開催します。島田療育センターの行っている事業や歴史、

法律のことなど、それぞれの業務では直接触れることが少ない講義が多く組み込まれています。しかしながら、島田療育センターの職員として働く上では欠かせない内容となっているので、これらの知識を基に高い意識を持って業務へ臨んでもらえることを期待します。

(編集委員 岸水 美知恵)

4月2日(月)

内容
始まりの挨拶とオリエンテーション
幹部紹介
新職員辞令交付
日本心身障害児協会の役割
島田療育センターの歴史
島田療育センターの理念と今年度の方針
島田療育センターの組織
島田療育センターはちおうじ(療育について)
外来利用者様の医療相談
入所利用者様の医療相談
個人情報について
就業規則・給与規定
終わりの挨拶、書類提出

4月3日(火)

内容
始まりの挨拶
島田療育センターの地域支援
島田療育センターに関わる法律
重症心身障害児・者の療育
災害・防災について
院内感染
医療安全
終わりの挨拶と片付け

4月4日(水)

内容
重症児(者)のライフステージ
重症児(者)のケア【排泄・便秘と腸閉塞(イレウス)】
脳性麻痺・てんかん・精神遅滞
骨粗鬆症と骨折
KOMI理論について【KOMI理論を使った生活のプランニングについて】
検査科について
感染対策(実技あり)
動く重症児(者)のケア
クラブ紹介・図書紹介

4月5日(木)

内容
重症児(者)のケア【呼吸:穏やかな呼吸のために必要な知識と技術】
重症児(者)の行動障害【広汎性発達障害を中心に】
センターの様々な活動・行事・イベント/学校教育
重症児(者)の栄養管理について
重症児(者)の摂食嚥下・コミュニケーション(演習あり)

4月6日(金)

内容
医療ガス安全講習(演習あり)
スヌーズレン活動・ピコピコルーム活動
医療機器について
重症児(者)のケア【栄養:摂食介助と経管栄養管理】
紙おむつの特徴と使用方法(演習あり)

4月9日(月)

内容
重症児(者)の心理的支援
重症児(者)の身体的特徴・姿勢保持(演習あり)
生活の中での介護技術(演習あり)
在宅支援【デイケアセンターの役割】
重症児(者)の口腔とケア【口腔疾患とその予防】(演習あり)

4月10日(火)

内容
救急時の対応・AED取扱いと心臓マッサージ(演習あり)
接遇(基本的な会話・電話対応)
福祉職に求められること(GW)・接遇



ST科講習会

3月6日(火)

ことばを育てることばかけ・関わり方

ST科では去る3月6日(火)、ことばを話し始めるまでの時期に大切な関わり方、言葉かけについての講習会を開催しました。当日は障害のあるお子さんの保護者や幼児教育関係者など11名の方にご参加いただきました。「ことばが育てばコミュニケーションが育つ」のではなく、「コミュニケーションが育ったから言葉を話し始める」ということについて、皆さん熱心に聞いてくださっていました。

事前にいただいたご相談内容を扱うことで、「学んだ内容を実践してみようと思いました」とのお声をいただき、実践に役立つ内容を伝えることができたのではと所思いました。



(言語聴覚士 藤本 淳平)

心理講習会

3月13日(火)

子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方

3月13日(火)に心理講習会を開催し、13名の保護者の方にご参加いただきました。講習会では、お子さんの行動・気持ちへの対応方法や親自身の気持ちの整理の仕方について、講義とロールプレイ等の体験を行いました。また、後半では事前にいただいた質問にお答えしました。事後のアンケートでは、「日常の対応を見直す機

会になった」「ペアレントトレーニングに参加する前に入門として聞けてよかった」という感想をいただきました。今後も、保護者の方が「1人で悩まなくてよいんだ」と感じられる場を提供していきたいと思っています。



(心理判定員 高木 聡子)

個人情報保護研修

1月30日(火)

情報セキュリティについて

1月30日(火)、厚生棟研修室にて全職員を対象とした個人情報保護研修を実施しました。3月からオーダリングシステムの運用が始まることもあり、株式会社ベネフィックスの藤原様に情報セキュリティについての講義をお願いしました。講義は個人情報と情報セキュリティの基本や対策法の説明から始まり、個人情報漏洩の事例

紹介なども交えて情報セキュリティの重要性を説明していただきました。重要なポイントを簡潔にお話いただいたため、職員の理解度も高かったようです。



当日参加ができなかった職員に対しては、当日と同じ内容を視聴できる時間を数日設けるなどし、職員全員が意識を高めていけるよう取り組んでいます。

(編集委員 神田 水太)

医療安全講習会

2月2日(金)

事故報告書から外傷事故を考える

2月2日(金)、14日(水)の2日間、厚生棟にて医療安全講習会が行われました(14日はビデオ放映)。今年度は12月末時点での骨折件数が昨年度を上回ってしまったため、外来の舟田療育長から「事故報告書から外傷事故を考える」というテーマで月別件数推移、発生場所、事故の分類や具体的な内容をお話していただき

ました。外傷事故の多くは原因不明で、同じような事故が繰り返されているそうです。

原因究明から予防へと繋げ小さな傷を大きな怪我にしないためにも報告は大切であり、事故報告書の存在と書き方について見直すきっかけになったのではと思ひます。



(編集委員 中野 智子)

国士舘大学体育学部

介護等体験実習の受け入れ

3日目に「介護等体験が、とても楽しくなってきました。」と話した学生さん。「〇〇さん、〇〇がしたいのかもしれませんが。どうしたらいいですか?」と、利用者様の思いに寄り添う姿勢がまぶしいほどでした。学生にとって、利用者様とのコンタクトはチャレンジそのもの。戸惑いや感動を伴いながら介護等体験は進んでいき

ます。平成30年度で受け入れ19年目となる介護等体験、やがて社会に巣立つ彼らが、人との関わりを見つめなおしたり介護分野に視野を広げたりし、心身共により一層大きく成長していきますように、心を込めて5月～12月に257名の学生を受け入れます。

(療育長 岩井 理)



介護等体験最終日、「利用者様に…」と学生さんからいただいた絵本

## 利用者様向け資料室 情報資料室くつろぎのご紹介

島田療育センターの外來待合室の近くに「情報資料室」という小さな部屋があるのをご存知でしょうか？「くつろぎ」の愛称で呼ばれるこの部屋は、療育図書や各種資料の閲覧が自由にできる外來の利用者様向けの資料室です。平成19年に開設され、日本財団様や島田療育センター後援会様など多くの方からの寄付に支えられ

ながら、現在は600冊以上の療育図書揃えるまでになりました。書籍以外にも、近隣の市の就学・進学の情報、車椅子などの物々交換ができる「ecoにこボード」の設置、ウォーターサーバーやコーヒーの無料サービスなども行っていますので、当センターにいらした際はぜひ立ち寄ってみてくださいね。

(編集委員 神田 水太)



## 島田療育センター 職場紹介 療育部長室・療育部室の紹介

管理棟から設備棟に通じる接続棟の2階に療育部室があります。療育部では毎日、利用者様と職員の健康状態や勤務人数の把握を行っています。また、病棟・デイケア・ほっとステーションで予定されている活動・行事等の確認も大切な業務です。



療育部室には落合部長・高橋療育長・岩井療育長・米川さん(感染管理認定看護師)・伊藤さん(事務部療育部担当)・杉田(副部長)がいます。いつも女性パワーに圧倒されながらもチームワークよく働いています。多くの方が出入りしていますが、療育部室前を通りましたら声をかけてください。

療育部室前の廊下にある「ほっとスペース」は29年度8月号で紹介されていましたが、ぜひ立ち止まり見てくださいね！今回のテーマは「私の家族紹介」です。(療育部副部長 杉田 友春)



## おしらせコーナー



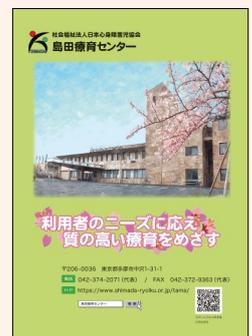
### 第57回創立記念式

平成30年5月1日(火)に創立記念式が行われます。当センターは、今年で創立57年を迎えます。



### パンフレットが新しくなりました

島田療育センターの紹介パンフレットが4月からリニューアルしました。当センターホームページにも掲載しておりますので、よろしければご覧ください。



各事業の詳細パンフレットもございます

## shot! ひと息

### ほっとステーションの様子



裏山に咲く椿



すくすく育つ原木しいたけ

## 実習生受入状況

平成30年2月～平成30年3月

種別	人数	種別	人数
看護師	13名	作業療法士	1名
保育士	12名	心理判定員	6名
介護福祉士	4名		

※介護等体験実習の数は含みません

